

## 第4学年社会科学学習指導案

### 三原市立本郷小学校4年

# 単元名 水害からくらしを守る ～自然災害から身を守ろう～

## 1 要 旨

本単元は、学習指導要領第4学年の内容(3)に基づくものである。

(3) 自然災害から人々を守る活動について、学習の問題を追究・解決する活動を通して、次の事項を身に付けることができるように指導する。

ア 次のような知識及び技能を身に付けること。

(ア) 地域の関係機関や人々は、自然災害に対し、様々な協力をして対処してきたことや、今後想定される自然災害に対し、様々な備えをしていることを理解すること。

(イ) 聞き取り調査をしたり地図や年表などの資料で調べたりして、まとめること。

イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。

(ア) 過去に発生した地域の自然災害、関係機関の協力などに着目して、災害から人々を守る活動を捉え、その働きを考え、表現すること。

### (1) 単元観

本単元は、広島県や三原市でも甚大な被害を受けた平成30年7月豪雨（西日本豪雨）での被害について取り上げ、広島県や三原市では、災害が起きたときにどのような対処や連携をしてきたのか、また今後起こりうる災害に向けてどのような備えをしているかについて理解することをねらいとしている。「水害が起きたら」「水害とわたしたちのくらし」「家庭で備えていること」「学校や通学路で備えていること」「市の取組」の5つの場面に分けて学習を進めていく。これまでの学習をもとに「もしも自分たちの学校の体育館が避難所になったら」を想定し、日頃から必要な備えをするなど、自分にできることを考え、自ら選択・判断を迫る学習を行うことで、児童の生活実践に還元することに適した単元である。

### (2) 児童観

### (3) 指導観

指導に当たっては、「水害に対する備え」と「災害時に自らが選択・判断できること」に重点を置きたい。実際に経験した西日本豪雨をもとに学習を進め、学校や地域など実際に水害に対する備えを実際に見に行くなどの調査活動を行わせたり、三原市のホームページや三原市役所の方の話を聞いたりして、これから起こりうる災害に向けての備えについて、分かったことや考えたことをまとめさせたい。また、学習指導要領でも示されている「自分たちにできることなどを考えたり、選択・判断したりできる」活動を設定し、これまでの学習をもとに災害が起こる前や起きた後にどのようなことができるのか自ら選択し、判断ができるようにさせたい。

本単元の導入では、広島県や三原市で過去に起こった水害について知り、実際に経験した西日本豪雨のときのことを想起させ、災害が私たちのくらしに与える影響について考え「水害からくらしを守るために、地域の人々はどのようなことをしているのだろうか。」という単元を貫く問いを設定したい。

展開の部分では、三原市がホームページに掲載している災害に関する資料や地域で行われている西日本豪雨に係る工事の概要などから、家庭、学校や地域、三原市のそれぞれの場でどのような備えをしているのか調べたりまとめたりする活動を行わせる。

終末では、これまでの学習した内容をもとに、「学校が実際の避難所になったとき、自分だったらどうするか」という学習活動を設定する。

## 2 単元の目標

自然災害から人々を守る活動について、過去に発生した地域の自然災害、関係機関の協力などに着目して、聞き取り調査をしたり地図や年表などの資料で調べたりしてまとめ、災害から人々を守る活動を捉え、その働きを考え、表現することを通して、地域の関連機関の人々は、様々な努力をしてきたことや今後想定される災害に対し様々な備えをしていることを理解できるようにするとともに、主体的に学習問題を追究・解決し、学習したことをもとに地域社会の一員として、自分たちにできることを考えようとする態度を養う。

## 3 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>①過去に発生した地域の自然災害、関係機関の協力などについて、聞き取り調査をしたり地図や年表などの資料で調べたりして、必要な情報を集め、読み取り、災害から人々を守る活動を理解している。</p> <p>②調べたことを年表や図表、文などにまとめ、地域の関係機関や地域の人々は、自然災害に対し、様々な協力をして対処してきたことや、今後想定される災害に対し、様々な備えをしていることを理解している。</p>	<p>①過去に発生した地域の自然災害、関係機関の協力などに着目して、問いを見出し、災害から人々を守る活動について考え表現している。</p> <p>②自然災害が発生した際の被害状況と災害から人々を守る活動を関連付けて、その働きを考えたり、学習したことをもとに地域で起こり得る災害を想定し、日頃から必要な備えをするなど、自分たちにできることを考えたり、選択・判断したりして表現している。</p>	<p>①自然災害から人々を守る活動について、予想や学習計画を立てたり、見直したりして、主体的に学習問題を追究し、解決しようとしている。</p> <p>②学習したことをもとに地域で起こり得る災害を想定し、日頃から必要な備えをするなど、自分たちにできることを考えようとしている。</p>

## 4 知識の構造図

地域の関係諸機関や地域の人々は自然災害に対し、安全に生活できるよう、災害に関する情報を発信したり、安全な場所を確保したりするなど対処してきた。

また、今後想定される災害に対し、県や市が連携し、町内の整備や避難行動計画を立てるなどの備えをしている。

⑨ 災害発生後、避難所となる学校では地域の人々や市役所の担当者と協力して、自分でやるべきことやみんなで協力してやること、市の協力を借りることなど、役割分担して選択・判断することが大切である。

⑧ 家庭、学校、市全体、市や住民、住民同士は、互いに連携や協力しながら、水害への対策や準備をそれぞれの役割を果たしながら行っている。

## 5 社会的な見方・考え方を働かせた児童の発言

時 間	<ul style="list-style-type: none"><li>・三原市では平成 30 年に西日本豪雨による水害が起きている。</li><li>・沼田川では平成 30 年以降堤防を作るなどの整備がされている。</li></ul>
空 間	<ul style="list-style-type: none"><li>・本郷は北側に山があり、沼田川が流れている。</li><li>・本郷は沼田川の近くに住宅や工場が多くある。</li></ul>

相互関係	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害時には住民同士で、助けることができるように工夫している。</li> <li>・避難場所や危険地区について HP 等で三原市からお知らせしている。</li> </ul>
------	---

**6 指導計画（全 9 時間）**

次	学習内容	評価の観点			資料	評価規準 (評価方法)
		知	思	学		
第一次 問いの発生	①豪雨災害の写真などから、わたしたちが住んでいる広島県や三原市では、過去にどのような水害があったのかについて話し合い、学習課題をつくることができるようにする。		○		<ul style="list-style-type: none"> <li>・過去に広島県で起きた水害の写真</li> <li>・西日本豪雨の被害の様子の写真</li> <li>・消防や自衛隊などが出動している写真</li> </ul>	災害時における人々の生活について問いを見出している。 <b>【思-①】</b> (ノート・発言)
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: auto;">             水害によって、どのようなことが起きるのだろう。           </div>					
第二次 問いの探求	②水害が自分たちの暮らしに与える影響について考え、学習問題をつくる。			○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・沼田川が氾濫している写真</li> <li>・住宅が浸水している様子</li> </ul>	学習問題の解決に向けた予想や学習計画を立て、解決の見通しをもっている。 <b>【学-①】</b> (ノート・発言)
	<div style="border: 2px solid black; padding: 10px; width: fit-content; margin: auto;"> <b>【単元を貫く問い】</b>              水害から暮らしを守るために、              どのような備えをしているのだろう。           </div>					
第二次 問いの探求	③三原市では、三原市の豪雨災害発生後の市内の様子から、三原市が水害から市民を守るために行っている備えについて調べて話し合い、理解する。(本時)	○			<ul style="list-style-type: none"> <li>・町が復興した様子の写真</li> <li>・復旧、復興のための工事の写真</li> </ul>	三原市では水害が起きた時に備えて、国や県と連携を図り、被害を少なくするために様々な工事を行っていることについて理解している。 <b>【知-①】</b> (ノート・発言)
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: auto;">             三原市ではどのようなことを考えて工事が行われているのだろう。           </div>					
第二次 問いの探求	④三原市と地域の人々が協力して避難行動計画を立てたり自主防災組織を組んだりして、地域を守る活動をしていることについて調べて話し合い、理解する。	○			<ul style="list-style-type: none"> <li>・避難行動計画</li> <li>・ハザードマップ</li> <li>・自主防災組織の訓練の様子</li> <li>・自主防災組織の主な活動に関する資料</li> </ul>	市と地域住民が連携しながら、災害に対する備えをしていることについて理解している。 <b>【知-①】</b> (ノート・発言)
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: auto;">             三原市と住民は協力しながら、              どのような備えをしているのだろう。           </div>					

<p>⑤学校や通学路では、水害に備えて、どのような取組をしているのか調べて話し合い、理解する。</p>	○			<ul style="list-style-type: none"> <li>・水害の避難訓練</li> <li>・防災倉庫</li> <li>・三原市のHP (避難所・ハザードマップ・浸水ポスター等)</li> </ul>	<p>学校や通学路では、水害に対する準備や備えをしていることについて理解している。</p> <p>【知一①】 (ノート・発言)</p>
<p>⑥家庭では水害に備えて、どのような取組をしているのか調べて話し合い、理解する。</p>	○			<ul style="list-style-type: none"> <li>・避難用リュック</li> <li>・三原市FM告知端末ラジオ</li> </ul>	<p>家庭では、災害が起きる前の準備と起きてからの対策をしていることについて理解している。</p> <p>【知一①】 (ノート・発言)</p>
<p>⑦地域の関係諸機関や人々は自然災害に対し、様々な努力や対処をしてきたことや、今後想定される災害に対し、様々な備えをしていることについてまとめている。</p>	○			<ul style="list-style-type: none"> <li>・各場所での備えに関する資料</li> <li>・「自助」「公助」「共助」の役割に分けたワークシート</li> </ul>	<p>家庭、学校、市全体、市や住民、住民同士などは、連携や協力しながら、水害に対して、対策や準備をそれぞれの役割を果たしながら行っていることについて理解している。</p> <p>【知一②】 (ノート・発言)</p>
<p>⑧これまでの資料を元にして、単元を貫く問いについて考える。</p>		○		<ul style="list-style-type: none"> <li>・各場所での備えに関する資料</li> </ul>	<p>過去に発生した地域の自然災害、関係諸機関の協力などに着目して、災害から人々を守る活動について考え表現している。</p> <p>【知一①】 (ノート)</p>

第三次 問いの 解決	<p>⑨学校が避難所になったときに、自分だったらどうするか考えたり、友達の考えを聞いたりする活動を通して、いろいろな立場の人と協力していくことの大切さについて考える。</p>	○	○	<p>・各所で行っている災害への準備や対策に関する写真等の資料</p>	<p>これまでに学習したことをもとに、地域で起こり得る災害を想定し、日頃から必要な備えについて考えるなど、自分たちにできることを考え、選択・判断して表現することができる。</p> <p>【思-②】 これまでに学習したことをもとに、体育館が避難所になった場合に自分たちができることについて考えようとしている。</p> <p>【学-②】 (ノート・発言)</p>
<p>学校が避難所になった場合の行動について考えよう。</p>					

## 7 本時の展開 (3/8)

### (1) 本時の目標

西日本豪雨による水害で被害を受けた後、三原市では水害に対する備えを国や県と協力して行っていることについて理解する。

### (2) 本時の評価規準

三原市では水害が起きた時に備えて、国や県と連携を図り、被害を少なくするために様々な工事を行っていることについて理解している。

### (3) 学習展開

過程	○主な発問 ・ 予想される児童の反応	◇指導上の留意点 ★評価規準 (評価方法)
問いの発生	<p>○災害が起き、4年経った現在の町の様子や生活はどのように変わりましたか。</p> <div style="display: flex; align-items: center; margin: 10px 0;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 200px;"> <p>(災害直後)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・店や家が浸水していた。</li> <li>・道路が通れなかった。</li> <li>・川が氾濫していた。</li> </ul> </div> <div style="margin: 0 10px;">→</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 200px;"> <p>(現在の様子)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・水はもうない。</li> <li>・道路がきれいになった。</li> <li>・川の氾濫は収まった。</li> </ul> </div> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティアの人が掃除をしてくれた。</li> <li>・自衛隊の人が手伝ってくれたから町がきれいになった。</li> <li>・壊れたところは工事の人が来てくれていたね。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>㊟三原市では、どのようなことが行われてきたのだろう。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・もう工事は終わっていると思うな。</li> <li>・4年経ってもまだ工事をしているの？</li> </ul>	<p>◇災害が起きたときと現在の町の様子の写真を提示し、本郷の町が復旧していることに気付かせ、本時のめあてに繋げる。</p> <p>◇町の様子や現在行われている工事の写真から、災害により壊れたところは工事がされたことに気付かせ、問いの一つ目に繋げる。</p>

●なぜ三原市では長い間工事が行われていたのだろうか。

- ・直す箇所がとて多かつたから時間がかかったと思う。
- ・壊れた箇所をより頑丈にする工事をしたからだと思う。

○東部建設事務所の方のお話を聞きましょう。

今回の災害によって多くの箇所を工事する必要がありました。直すところがたくさんあったため、資材や工事をする会社の人たちがたくさん必要になりました。そのため1か所では全部工事ができないため、優先順位を付けて工事をせざるを得ませんでした。三原市においてはほぼ工事が完成していますが、まだ4か所工事をしていることがあります。

- ・資材や人が足りなかったため。
- ・優先順位をつけて工事を順番に行っていたため。

○優先順位をつけ、工事をしなければならないのにも関わらず、なぜ時間をかけて行っていたのか、実際に行われた工事から考えましょう。

【災害後の様子】



【工事が行われた後】



【工事の目的について】

- ・壊れたところを直す
- ・これから同じような被害が繰り返されようにするための工事をする。

○東部建設事務所の方の話を聞きましょう。

みなさんに安全・安心にこれからも暮らしてもらうために災害復旧工事には大きく分けて2つの効果があります。1つ目は壊れたところを直してみなさんにこれまでと同じような暮らしをしてもらうことです。2つ目は新たな施設を造ったり、新たな機能を加えたりして同じような大雨が降った時同じような被害が起こらないようにすることです。

○工事が長い間行われていたのはなぜでしたか。

- ・優先順位をつけて工事を行ってきた。
- ・壊れたところを直す工事とこれから同じような被害が起こらないようにする工事があった。
- ・これからのことを考えて工事をしてきていた。

○写真やさっき聞いた方に共通するものはありますか。

- ・看板に「広島県」の文字がある。
- ・三原市の人ではなく「広島県」の人からの話だね。

● “広島県” が関わっているのはなぜだろう。

- ・お金を出してもらうために広島県に手伝ってもらっているのかな。
- ・工事が必要な場所がたくさんあるから、三原市の人だけでは工事をする人が足りないのかもしれない。

◇西日本豪雨が起きてから4年経ち、工事が長い期間行われてきた理由について考える。

◇東部建設事務所の方の話から、長い期間工事がされていた理由についてまとめる。

◇災害後と工事終了後の写真を見比べ、工事の目的や効果に気付かせる。

◇東部建設事務所の方の話や実際に行われた工事の様子から工事が長い期間かけて行われてきた理由をまとめる。

◇写真中にある“広島県”の文字や“広島県の方から”の言葉に注目させ、二つ目の問いに繋げる。

◇三原市のことに広島県の人がかかわっている理由について予想を立てさせる。


	<p>○広島県と三原市が協力している理由はを調べよう。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>道路や川は国や県、市がそれぞれ管理をしています。災害等で壊れた場合は、管理しているところが工事の計画したり、実施したりしています。本郷での工事をする事で、本郷の人だけでなく他の地域の人の暮らしを守ることができます。</p> </div> <p>○今日の学習で共通していることにはどのようなものがありましたか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今後起こる災害に備えるための工事がされていた。</li> <li>・広島県と三原市が協力をしていた。</li> </ul>	<p>◇ 広島県が三原市に協力していることやその理由について確認させる。</p> <p>◇工事現場の看板を見たり広島県の職員の方の話を聞いたりして、三原市と広島県が協力していることに気付かせる。</p>
	<p>○今日の学習をまとめましょう。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>㊟ 三原市では、優先順位を考えて工事を進め、これから同じような被害が起こらないようにするために、広島県をと協力しながら工事を行っている。</p> </div> <p>○振り返りをしましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・被害が少なくなるよう、町の中にたくさんの備えをしていることがわかった。</li> <li>・広島県と協力して工事を行っていることが分かった。</li> </ul>	<p>★三原市では、西日本豪雨による被害を受けた後、県と協力をして、今後水害が起きた時に被害を減らすための工事を行っていることについて理解する。 (ノート・発言)</p>

## 8 本時の板書計画

10/26 水害からくらしを守る ～水害からくらしを守るためにどのようなことをしているのだろう～

㊟ 三原市ではどのようなことを考えて工事が行われているのだろう。


災害後の写真



- ・砂や木などが撤去された。
- ・今まで通りの生活ができています。
- ・長い間工事をしてきた。
- ・川は元通りになっている。

●なぜ本郷では長い間工事が行われていたのだろう。

- ・工事が必要な箇所が多かった。
- ・工事は優先順位をつけて行ってきた。
- ・資材や人手が足りなかった。



↓


【工事の目的について】

- ・壊れたところを直す。
- ・これから同じような被害が繰り返されようにするための工事をする。

- ・優先順位をつけて工事を行った。
- ・これからのことを考えた工事。
- 被害が大きくなるように

●“広島県の人”が関わっているのはなぜだろう。

- ㊞ ・お金が足りないのかも。
- ・工事する人が三原市の人だけでは足りないのかも。



道路や川は国や県、市がそれぞれ管理をしています。災害等で壊れた場合は、管理しているところが工事の計画したり、実施したりしています。本郷での工事をする事で、本郷の人だけでなく他の地域の人の暮らしを守ることができます。

㊟ 三原市では、優先順位を考えながら、これから同じような被害が起こらないようにするために、広島県をと協力しながら工事を行っている。